



2025 年 11 月 6 日

各 位

会社名 株式会社ダイセル
代表者名 代表取締役社長 榎 康裕
(コード番号 4202 東証 プライム市場)
問合せ先 執行役員
事業支援本部副本部長 (兼)
事業支援本部 I R 広報グループ
リーダー 廣川 正彦
(TEL 03-6711-8121)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2025 年 5 月 13 日に公表しました、2026 年 3 月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2026 年 3 月期通期連結業績予想の修正 (2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (2025 年 5 月 13 日発表)	百万円 600,000	百万円 54,000	百万円 56,000	百万円 54,000	円 銭 203.67
今回修正予想 (B)	583,000	46,500	47,500	50,000	188.33
増減額 (B - A)	△17,000	△7,500	△8,500	△4,000	—
増減率 (%)	△2.8	△13.9	△15.2	△7.4	—
(ご参考) 前期実績 (2025 年 3 月期)	586,531	61,011	62,320	49,480	181.44

2. 修正の理由

当中間連結会計期間においては、為替が想定より円安で推移したものの、顧客の在庫調整に伴うアセテート・トウの販売数量の減少や、ポリプラスチックにおける POM の販売数量の減少などにより、売上高が当初想定を下回りました。また、セイフティ事業の米国拠点では生産性改善が着実に進展しているものの、酢酸原料（一酸化炭素）プラントにおいて一過性トラブルが発生したことなどから、各利益項目も当初想定を下回る結果となりました。

第 3 四半期以降も先行き不透明な状況が続くと見込まれますが、中間連結会計期間の経営成績、各製品の需要動向や市況の見通しなどを踏まえ、2025 年 5 月 13 日に公表した 2026 年 3 月期通期連結業績予想を上記の通り修正いたしました。

- ※1. 業績予想は、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありうることをご承知おきください。
- ※2. 今回発表予想の第3四半期以降の前提につきましては、為替相場は145 円/US\$、メタノールアジアスポット価格はUS\$330/ton、ドバイ原油価格はUS\$70/bbl、国産ナフサ価格は63,000 円/k1 を想定しております。

以 上